

甲斐たかゆきの市議会だより「えがお」号外・2021年10月発行



みなさん、こんにちは。ご無沙汰しています。少しずつ朝夕は涼しくなってきましたが、日中は暑さが残る日もあり、体調管理が難しい時期となりました。また、県内の感染状況が「ステージ2」になったとはいえ、冬場に向けて再々拡大となるのではないかと、不安を感じている方も多いのではないのでしょうか。これからも当面の間は「コロナ禍」での生活を前提として、マスクや消毒などの基本的な感染症対策とともに、体調維持のためにも運動や食事等にも十分にお気をつけください。

左画像のような看板も掲げ、「7のつく日」を中心にあいさつ行動をこれまで同様に行っています。

今できることにこれからも取り組みます。

さて、これまでも訴えてきましたが・・・感染状況が落ち着いてきた今だからこそ、

①「誰でも希望すれば何度でも受けられる PCR 検査体制の確立」

②「希望される方への早期のワクチン接種」と「副反応等の正確な情報の発信」

③「臨時の病床確保や療養施設の確保(酸素ステーション等)」などの対策が必要です。

某政党の総裁選でも感染症対策が語られていましたが、その後の新政権の発足などを受けても、新たな具体的対策が講じられるとは思えない状況です。これまでも先進的な取り組みをしている地方自治体の事例がマスコミで紹介されていたり、野党も数々の具体的な政策を提起したりしています。短期間となった臨時国会、その後の総選挙を通して、そして新たな国会では、ぜひともこれまでの政策を真摯に検証し、「コロナ禍」にどのように取り組んでいくのか、国民の命と暮らしを守っていくことを第一義に議論を積み重ねて、長期的視点をもった機動性のある政策の実現を願っています。県や市独自の取り組み等については予算面からも限界があるのは確かです。国民の命と暮らしを守るために国の予算を使う・・・この当たり前のことを私自身もさまざまな場で訴えていきます。

なお、**大分市には独自の「抗原検査センター」**が大分駅北口広場に設置されており、これまでかなり有効に機能していると感じています。来年の3月末まで継続することは決まっています。どなたでも短時間で検査を受けることができます(お買い物等のレシートを提示すれば検査可能)ので、ご活用下さい。別地域での検査センターの新規設置も要望中です。

抗原検査キットについては、8月下旬の2学期スタートに向けて、**教育委員会に独自提案として**、下記のことを要望しました。

☆学校現場に関わるすべての教職員に当面の間、毎週末に抗原検査キットを持ち帰ってもらい、週の始めの勤務日の朝までに各自で検査し、陰性を確認した後に、出勤する。

・ワクチン接種の有無にかかわらず行うことで、プライバシーの保護にもつながる。

・学校にリスクを持ち込まない体制づくりができる(子どもたちを守る)。

残念ながら実現には至っていませんが、学校現場を守るために「抗原検査キット」の積極的な活用をこれからも訴えていきます。他の活用案については、裏面に記載しています。

☆抗原検査キットの積極的な活用案・続き

○県から配布済みの抗原検査キット+新たに市独自で追加配布することで、

- ・積極的な活用が学校独自ででき、授業内容や活動範囲の拡大を図ることにつながる。
- ・希望する教職員の定期的な検査で、その方を保護するだけでなく、子どもたちを守ることに繋がる。
- ・外部講師や地域からの人材の受け入れ体制をつくることのできる。読み聞かせや歯の保健指導など現在休止している外部との交流活動の再開を検討することができる。
- ・このほか、学校の要望に応じた柔軟な活用で、安心安全が高まるのではないかと。

「ワクチン接種」や「抗原検査キット」等については、さまざまなご意見があると思います。先の見通せない「コロナ禍」ではありますが、少しでも安心安全な生活をおくれるように、子どもたちと学校現場の笑顔を守っていけるように、私自身も調査研究、そして提案等をこれからも積極的に行っていきます。どうぞご意見、ご要望をお聞かせください。

【甲斐の思い】 現在「ワクチン接種」について国の方針としては、対象年齢が 12 歳以上となっています。しかしながら、他国や製薬会社などの方針や見解の中で、接種対象年齢の引き下げが報告されています。治験データも充分ではありませんし、これまでもかなりのリスクが懸念されている低年齢層へのワクチン接種は、安易に導入すべきではありません。綿密なデータ分析と専門家の意見等を踏まえた慎重な論議が必要です。また現段階でも 12 歳以上の生徒等への接種は、学校での集団接種ではなく、保護者同伴での個別接種、そして希望する方だけの接種にとどめることが大前提です。

【通学路の安全対策について】



「えがお 19 号」に概要を取り上げていますが、ここでは、今後の具体的な対策についていくつかご紹介します。①上記左側画像・・・高江中央 1 丁目バス停と高江トンネル間の交差点・下り路線側(トンネルを背にして左側)にガードパイプを設置します。②上記右側画像・・・つつじヶ丘 1 号線の 1 丁目橋北側交差点にボラードを設置します。ボラードとは、自動車の進入を阻止するための杭のことです。このほかにも大分市内で合計 146 箇所について対策を協議しています。今後の工事等の進捗をお待ちください。調査中のところも数多くありますので、引き続き安全対策が講じられるように注視します。

甲斐たかゆき・連絡先 090-4991-6412 (判田台南在住)